

[成果情報名]ウメ「露茜」における新規導入園での早期多収を図るための樹形

[要約]ウメ「露茜」において、主幹長 2.5m の主幹形が早期の樹冠占有面積の拡大や収量性および作業性に優れ、最適な樹形である。

[キーワード]ウメ、露茜、主幹形、早期多収

[担当]宮崎県総合農業試験場・果樹部

[代表連絡先]電話 0985-73-2121

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

ウメ「露茜」は果肉が赤く着色し、ウメジュースや梅酒などに加工すると鮮やかな赤色になるため、加工品の原料としての利用価値が高い。しかし、「露茜」は枝が細く、結果した果実の重さで骨格枝が下垂しやすいため、ウメの一般的な整枝法である開心自然形では樹勢が弱く、樹冠拡大が遅い。そこで、ウメ「露茜」の新規導入を促進するために、早期に樹冠占有面積の拡大が図られるとともに、多収安定生産が可能で作業性に優れた樹形の開発を行う。

[成果の内容・特徴]

1. 各樹形の落葉期の樹姿は図1のとおりであり、棚仕立て形は主枝を開心自然形と同様に仕立て、枝の下垂を防止するために番線へ誘引する。主幹形は主幹を中心として、周囲に側枝を配置する。
2. 植栽後の樹冠占有面積の拡大は主幹形で早く、早期（植栽後9年目まで）の収量は主幹形（2.5m）で多く推移する（図2）。
3. 6年目および9年目は、受粉樹との開花期が合わなかったため収量が減少した（図2）。
4. 1樹当たり収量および1㎡当たり収量は主幹形（2.5m）で最も多い（表1）。
5. 1kg 当たり収穫作業時間は主幹形（2.0m）で最も長く、主幹形（2.5m）、棚仕立て形および開心自然形間には差は無い（表1）。主幹長が2.0mの場合、側枝の配置間隔が狭くなり、内部の果実を収穫する際に時間がかかる。
6. 1㎡当たり剪定作業時間は主幹形で最も短い（表1）。
7. 果実重、果実横径および果皮a*値はいずれの樹形においても差はみられない（表1）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：ウメ「露茜」の栽培農家
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等：宮崎県ウメ「露茜」の栽培農家
3. その他：
 - ・ 供試樹は、2007年に1年生苗を場内ほ場に植栽したものである。
 - ・ 「露茜」は受粉樹が必要であるが、開花期が「南高」と比較して2週間程度遅れるため受粉樹対策が必要である。本試験においては通常の前年時に徒長枝を残した「南高」を受粉樹として利用し、開花終了後、速やかに徒長枝を剪除した。
 - ・ 主幹形は主幹長を2.5mに制限した場合でも、樹勢は旺盛にならない。
 - ・ 本試験の結果を利用し、和歌山県、徳島県と共同で栽培管理マニュアルを作成した。

[具体的データ]



図1 試験に供試した各樹形（2016年1月，左から開心自然形，棚仕立て形，主幹形（2.5m））

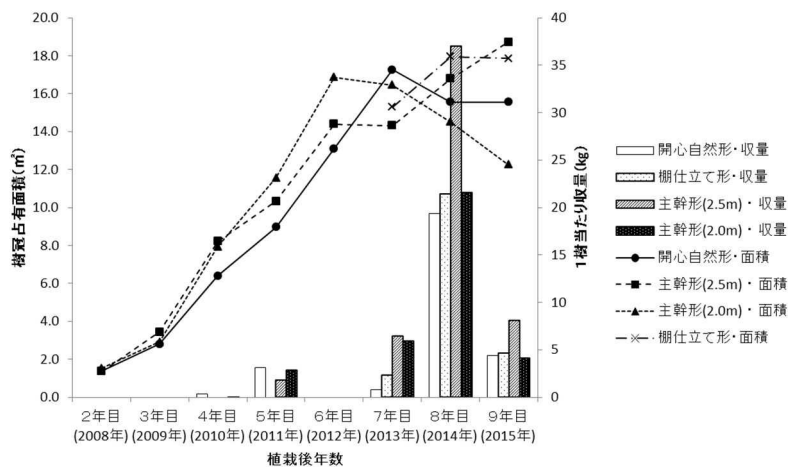


図2 各樹形における植栽後樹冠占有面積および1樹収量の推移

表1 各樹形における収量性、作業性および果実品質

	1樹当たり 収量 (kg)	樹冠占有面積 (m ²)	1m ² 当たり収量 (kg)	1kg当たり 収穫作業時間 (秒)	1m ² 当たり 剪定作業時間 (秒)	果実重 (g)	果実横径 (mm)	果皮 a*値
開心自然形	12.3	15.6	0.73	75(100)	209(100)	63.5	48.1	21.4
棚仕立て形	12.6	17.9	0.72	72(96)	221(106)	61.7	47.4	21.4
主幹形(2.5m)	22.6	17.8	1.26	73(97)	204(98)	65.9	48.0	21.1
主幹形(2.0m)	12.9	13.4	0.91	88(117)	204(98)	63.0	47.5	23.4

注) 1. 2014年および2015年の2か年平均、開心自然形および棚仕立て形は3反復、主幹形はそれぞれ2反復
 2. 主幹形(2.5m)および主幹形(2.0m)はそれぞれ主幹形の主幹長が2.5mおよび2.0mであることを示す
 3. 果皮a*値は果皮の赤みを表す指標としている
 4. 収穫作業時間および剪定作業時間の()内は開心自然形を100とした値
 5. 棚仕立て形における剪定作業時間には棚への誘引作業時間を含む
 6. 樹冠占有面積は 縦樹冠×横樹冠×0.8として算出

(栗野太貴)

[その他]

研究担当者：栗野太貴、迫田剛行、伊藤俊明、山口秀一
 発表論文等：

- 1)栗野ら（2016）園芸学会九州支部研究発表会発表要旨集、79:果樹部会 25
- 2)和歌山県果樹試験場うめ研究所ほか「栽培管理マニュアル(ウメ「露茜」の早期多収生産及び高品質果実供給技術)」

http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/tsuyuakane/files/saibai_kanri_manual.pdf（2016年3月）